

QSK

一人は皆のために 皆は一人のために

福岡県脊髄損傷者連合会

2016年6月10日

# わだち

No.196

福脊連ホームページアドレス [www.normanet.ne.jp/~ww101926/](http://www.normanet.ne.jp/~ww101926/)

## 「ハバロバロ」……「ハバロ」(1)

“広島でのオバマ演説聞き訳も読んだ” 産経新聞二

ユースの「オバマ大統領の演説を紐解く」黒瀬悦成氏の記事を要約  
抜粋して紹介する。(5月28日) 『2009年4月5日、就任間

もないオバマ大統領は、チエロの首都ブラハでの演説で、「核兵器  
を使用したことがある唯一の核保有国として、米国には行動する  
道義的な責任がある」と断言し、「核兵器のない平和で安全な世界  
(の実現)を目指す」と訴えた。』が、『広島訪問での演説は、「ブ  
ラハ演説」で自ら指摘した「米国の責任」に対する慎重な言葉で語  
られた。「71年前の雲一つない明るい朝、空から死が舞い降り、  
世界は変わった」「閃光(せんこう)と火柱が町を破壊し、(原爆  
投下は)人類が自らを破滅させる手段を手に入れたことを示した」  
と述べ、『米国が原爆の惨禍に責任を負うことを』『死者を追悼す  
るため、ここを訪れた』と述べつつ、自らの言葉が原爆投下への謝  
罪と受け取られることは慎重に避けた。演説の時間も約17分間に  
およんだものの、28分間だったブラハ演説に比べれば短かった。

背景に、米国内で根強い「原爆投下正当化論」や「謝罪反対論」  
への配慮があったことは想像に難くない。ブラハ演説で「世界は変  
わることができない」という声は無視しなければならない。イエス・  
ウィー・キャンと言おう」と訴えて約束した。』だが、今回は核軍  
縮への取り組みの多くが達成されていないためでもあると思える。

『「公約」のうち、ロシアとの核軍縮交渉は「新戦略兵器削減条  
約」(新START)として結実したものの、例えば包括的核実験  
禁止条約(CTBT)の批准は上院で否決され、兵器用核分裂性物  
質生産禁止条約(FMCT)交渉も棚上げ状態のままだ。』

## 《わだち目次》

!この国のゆくへ……………への  
問い!(1)……………1P

福脊連第38回総会報告……………4P

刑事司法制度改革と冤罪防止  
を考える(その一)……………7P

JR九州鹿児島本線水巻駅

バリアフリー化……………9P

『健ちゃん日記』……………10P

筑後支部第31回総会報告

……………11P

障害者の権利に関する条約第

1回日本政府報告(案)(日本

語訳訳)「参考資料2」より

……………12P

差別解消法筑後版……………15P

今月の時事……………16P

「こうした背景からか、「核廃絶」の目標は私が生きている間は実現しないだろう」と改めて指摘した上で、「(核戦争の)惨禍の可能性を引き下げるには粘り強い取り組みが必要だ。

記憶を風化させてはならない。記憶が想像力を養い、われわれを変えさせてくれる」と述べたが、「反戦・反核」の情念こそが世界を変えると期待する論理はむしろ、米国の世界的影響力を相対的に低下させ、核軍縮でも不完全燃焼気味だったオバマ氏の「黄昏(たそがれ)」を感じさせることとなった。』と読み解く。

わたしもプラハ演説より、気迫を感じなかった。何故か、一つには「核廃絶を唱える一方で、『核のボタンを広島に持ち込みを得ない』ことと、広島へ訪れる前日、ベトナムを訪中しベトナム戦争終結後から40年、武器禁輸を全面解除した。ベトナム

△は、殺傷能力の高い武器を米  
国から調達できる様になる。

(これまで、武器の多くをロシアに依存していた。)

オバマ氏は「中国が原因ではない。と」しつ、海洋の安全保障は、米国の懸念だとも指摘。

フィリピンやインドとの関係強化を含めて、米政権のアジア戦略の重要な政策となっている」5月24日朝日新聞朝刊3P・9Pより抜粋。

このように、米国の「核・軍事力」の強化・拡大を持って「抑止力」というカード」を所持しての外交と、軍事力によらない「外交(核廃絶を前提とする)」の矛盾(天秤)を抱えざるを得ない「立ち位置」なのだ。何故か。

「原爆投下は、戦争を終結するために必要であった」との国内事情と「軍産複合体」という「軍事産業」からぬけ出せない、「経済的依存」がある。武器製造企業幹部が常套言とし

て「兵器は、戦場での米兵士を守り、米国民を守るため。戦争の終結を早められる」という。

破壊力(無差別殺戮)そのものが、人道に反し、これを正当かするのは、武器製造者の自己正当化(弁語)でしかない。

よつは、「金儲けの体制維持」なのだ。これらに、安倍政権は「寄りば大樹の陰」と米国の核の笠の下に安住するのに「肩身の狭さを感じ、祖父の想いを引き継ぎ、一歩踏み出し憲法を解釈で「改憲し軍事化・武器輸出を強化し、「米国にならう」て「軍産複合体」に拍車をかけている。」ベルギーで計画された原発テロの脅威

「この記事を見た。『記者は、『もし日本の原発がテロリストに狙われたら、そんな心配が他人事とは思えない情報が発覚した。約三七〇人の死傷者を出した三月のベルギー連続テロで、自爆死した兄弟が原子力

施設の襲撃を検討していた疑いが浮上したのだ。兄弟は、イブラヒム・バクラウィ(29)、ハリド・バクラウィ(27)の両容疑者。地元紙などによると、二人は同国北部モルの原子力施設に勤める技術者の動向を撮影していたという。技術者は、ベルギーの原子力研究の責任者の一人とされる。動画は昨年未、パリのテロ関連で実施された家宅捜索で押収されていた。ベルギーでは、二カ所で原発が稼働しており、二人はその襲撃を狙った可能性がある。

治安当局は、原発の警備を強化、複数の原発従業員は、立ち入りを禁じられたという。ベルギーで実際にテロが行われたのは、空港と地下鉄だった。

原子力施設へのテロが察知されたため、直前に標的をかえたという見方も出ている。

五〇基の原発を抱える原  
発大国、日本にとって看過で

きない情報だ。日本でも、核関連施設内に不審者が紛れ込むのを警戒する必要がある。

しかし、原発職員のセキユリティチェックについても、日本は先進国のなかでおくれを取っている。一年一月、国際原子力機関 (IAEA) は核物質防護勧告 (INFDOC/225/Rev.)

を発表し、日本に対しても着実な実施を求めた。原子力規制委はワーキンググループを発足させ、原発勤務者の信頼性確認制度の導入を検討してきたが、約3年がかりでやっと最近、制度化にいたった状況だ。

それも結局は各電力会社が、防護区域等に入る社員の履歴や賞罰歴、法律上の責任能力、テロ活動を行うおそれのある団体との関連などを自主申告させ、適性検査もするといっ。これらは、原子炉等規制法にもつづき、規制委が規則で定めることとなった。これでは規定

だけつくり、あとは事業者におまかせというに等しい。』(WEBRONZA 社会・スポーツ記事一覽より、一部抜粋) 福島原発事故後の廃炉に向けた、これまでの作業経緯を省みると、

より、危機感がつのる。核による「攻撃」を想像する前に「原発への攻撃破壊」への想いが、より、押さえつけない「急迫」を感じる。(核兵器を使用しなくても、破壊力は同じではないのか) さらに、福島原発の「溶解し炉漏れした核燃料」の取り出しや、その「制御」の作業工程も視えない。汚染廃棄物の処理作業・保管場所(期限のない制御)も進んでいないこともある。これらは、「負の遺産」として、子供や孫へと引き継がれることを忘れてはなるまい。

さて、問いかける問題は「限りなく怒濤のよう」に溢れ出てくる。(G7) 首脳会議 (伊勢湾サミット) で、安倍

首相は議長として『世界経済はいま、多くの国がマイナス成長に転落したリーマン・ショックのような危機に陥りかねない状況である』と各国の「財政出動」を言ひ「危機対応」求めたが、メルケル独首相から「危機とまで言うのは、いかがなものか」と反論があり、他の首脳からも「危機の強調」する意見はなかった。

しかし、サミット後の会見で、安倍首相は「G7が認識を共有したと述べた。が、これは『世界経済の回復は継続しているが、成長は緩やかではらつきがある』との『基本認識を示した首脳宣言を逸脱している』と指摘されている。ようは、消費税の再延期を表明する機会としただけである。さらに、「消費税再延期」による、税収を見込んでの予算を組んでいた。見込まれた消費税率10%で増収の約5兆

円のうち、1兆5千億ほどが低所得者の対策に使う予定だった。月収が、6万4千円以下の高齢者らの約700万人の高齢者は毎年、最大で月5千円を追加で受け取れる制度だ。

また、今年度限りだが、「臨時給付金」を配り始めたが、来年はどうなるか? 三月には、生活保護受給所帯の過半数が、六五歳以上になったそうだ。「一億総活躍プラン」で保育所及び、介護ほぐともにも50万人分増・保育士・介護福祉士の処遇給与改善・給付型奨学金の増設・教育無償化・同一労働、同一賃金で正規・非正規の格差是正など。経済成長があつての政策だが、かけ声だけのプランになる恐れありきである。

ただし、不条理な社会を正常な社会に変える政策を書き変えられるは、有権者一人ひとりなの行動である。さーはじめよう! 七月の投票を・・・(しん)

# 福脊連 第38回総会報告

福脊連の第38回総会が、4月23日(土)、クローバープラザ6階 福祉特一室で開催された。

## 開会・総会成立確認

会員数82名に対し、出席者45名(うち委任状38名)により、会則に基づき総会成立を確認し、開会した。

## 会長挨拶

藤田会長より、挨拶があった。

## 議長・書記選出

議長、書記を選出し議案の審議に入った。

議長 堤 真吾氏

書記 東 聖三氏

## 基調報告

基調報告では、織田事務局長から、全脊連の現況についての問題点、課題について提

起された。



全脊連の今後について・・・  
安藤信哉理事の提案に沿って

### 【長所】

・公益社団法人であり、社会的信用度が高い。(とありますが、その評価軸と下記の課題・提案の内実を客観的に精査することも不可欠と考えます。さらに、各支部の活動が県域で社会的(他の団体との連携を含む)に浸透し、社会的な評価が「どの様に」あるかです。本部は、支部の総会議案書等を取り寄せて実態を

把握すべきです。)

・社会保障審議会など、各種行政機関の委員のポストがある。(各審議会への参画は不可欠であるが、「提言」については、最低限の「理事会での総意・合意」が前提であるが、協議されているとは言えず、個人的ブリーである面を否めません。制度や制度執行に伴う、「政省令・通達等」を読み解き、支部が「対応できるよう」に制度の解説・注意点などを的確に提供することが前提であり、それらを支部・ブロックの制度に関する研修が不可欠です。)

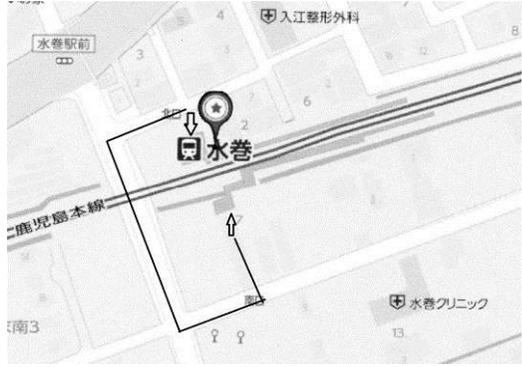
・脊髄損傷に関して高い専門性があり、ピアサポートが充実している。(「専門性」)ピアサポートが充実しているが、その実務的・内実としての「実績データ」は、未だに共有されてはいませんので、「専門性の内実」は確認できません。

もちろん、実績を上げている支部もありますが、相談事業の実績データは、今後の事業を進めるための実務的な「問題・課題を整理」をする「資源」であり、その掘り下げが新たな計画性(方針)を確立する材料なのです。)

・会員数が減少しているが、依然として2000名を超える数である。(減少する原因)2009年に提起していますが、協議されていません。現実、会員減少は加速されています。今後の分析が不可欠、今後の組織拡大について、具体的な政策についての掘り下げが必要です。)

(以下、議案書掲載)

第1号議案 各支部2015年度活動の総括・16年度方針  
2015年度各支部活動の総括及び、2016年度活動方針について3支部から報告



駅の移動経路図



### JR九州鹿児島本線水巻駅 バリアフリー化

今年3月に、バリアフリー化されたと聞いていた水巻駅を見てきた。

上下線ともに、博多寄り2両分は車両とほぼフラットであるが、小倉寄りには、かさ

上げがされてなく、段差が大きい。

従って、万が一の連絡ミスでスロープの迎えがない場合を考えると、博多方面からの上りは後ろの車両に、小倉方面からの下りは、前方の車両に乗ることをお勧めする。

上りホームにはスロープが、下りホームには、エレベーター

ーがついている。

駅構内は構造上、車椅子では上りホームと下りホームを行き来することができない。

駅員は北口(上り側)の駅舎にいたので、下り博多方面に乗車する場合は、北口で切符を購入し踏切を渡って南口に行くか、南口からインターホーンで連絡するかしなければならぬ。

もちろん自己責任で乗車する場合は、券売機はあるので連絡せずに乗車することもできる。

もともと地下式の通路の駅なので、経路は複雑である。一般トイレが北口、南口ともに改札外にあったが、北口改札内に多目的トイレが新設されていた。  
オストメイトやベビーベッドの併設されたトイレである。



多目的トイレ室内

駅のバリアフリー情報については、JR九州のホームページに詳しい記載があります。  
([http://www.jrkyushu.co.jp/profile/barrier\\_free/index.jsp](http://www.jrkyushu.co.jp/profile/barrier_free/index.jsp))

また、北九州支部作成のホームページでも見ることができるので、参考にして列車の旅を楽しんでみては、どうだろうか。

(<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~kitamachi/>)  
(北九州支部 白川長廣)

# 『健ちゃん日記』

季節も変わりの始め、ゴールデンウィーク、いかがお過ごしだったでしょうか。色鮮やかな花々も咲き、私の勤めている近辺では、ベッコウトンボ【絶滅危惧ⅠA類(CR) (環境省レッドリスト)】も飛び始め、ゴールデンウィークの期間開催していました。



私は、日曜・祝日だけ休ませていただき、五月一日は、岡山県から、博多に遊びに来ていた、友達を福岡空港に連れ去らいに、もとい、迎えに行き北九州までドライブしました。翌日、山陰地方で仕事だそうで、二時半の新幹線で

帰るので、八幡駅みどりの窓口で切符を購入後、東田イオンのサンマルクカフェで喫茶タイム。入る前に、スペースワールドの観覧車のシヨットを撮りおバカな話に



盛り上がり…。

いざ、お土産の購入時間を考えながら、東田地区から北九州エネルギー大臣会合G7のおこなわれている、小倉駅周辺へ乗用車自粛規制の看板を見ながら…駅近くになるにつれて、警備の厳重さが増していく。新幹線側駐車場に入庫しようとしたとき、六人の警官に取り囲まれ…そうです。

職質、車内検査、トランクの中、車体の下回りを念入りに検査され…無事通過(一見見て判断されたではないですよ)



駅に突入、凄い厳戒態勢か？ 一般の人達より、警察官の数ははるかに多く感じたのは、私達だけでしょうか。スロープ出入口両端、エレベーター乗り口にも、警察犬も数頭いましたね。



土産物屋に行き、本人は明太子の切子を購入。私は、北九州の官営八幡製鐵所で大正年間に従業員の栄養補助のためにつられ、関連施設の世界遺産登録により名物土産になった、くろがね堅パンとくろがね羊羹を購入して渡し、ちょうど、新幹線乗車十分前で、改札口で泣きの別れを(笑)。

2日、職場次世代エネルギーパークをクエート国営アレビ局のプロテューサーが撮影に来られて、案内をしていたら、突然のインタビューに言葉に詰まり、うまく伝わらない自分に赤面しました。後日私宛のメールに、YouTubeにアップしたので感想を聞かせてくださいと…インタビューは、カットされていました。三連休は、家で wowow を見ながら、ペットたちに囲まれながら過ごしていました。

北九州支部 宮岡 健